



西古見祭りご案内

奄美で最初にかつお漁を興した朝虎松の出身地。「西古見集落史」には明治から続いたかつお漁や鯉節工場の様子が克明につづられている。初代琉球銀行総裁の池畑嶺里などの偉人も多い。曾津高崎に行く途中の高台には東シナ海に向かって設置された旧陸軍要塞の「手熊監視所」がある。沖の三つの岩は立ち神。外側の岩をウキヌタチガミ、真ん中の岩をナハンタチガミ、磯に近い岩をネイトヌタチガミと呼ぶ。廃校となった西古見小中学校にはセンダンの大木が校庭を包むように枝葉を広げている。(南海日々新聞より)

イベント
催行日

平成24年
11月4日(日)

①西古見祭り送迎船

無料船を運行します。定員は70名です。(要予約。弁当千円を御購入下さい。)

集合場所 セとうち海の駅
出発時間 11時

②西古見祭り

貸切船で西古見集落を訪れます。集落の砂浜、サンゴの石垣、戦跡などの散策。集落民とともに、島唄・八月踊りを楽しめます。

③帰着

午後5時

※進行時間は状況で変更があります。

最少催行人数 **30名**

西ぬ 管鈍 なんてい
スラヨイイ ヨーイ
雨ぐるみぬ 下てい
ヨーヤレ 下(さが)てい
下てい ヨーヤレ 下てい
サガティ ヨーヤレ サガティ
雨ぐるみぬ ありよんな
スラヨイイ ヨーイ
吾加那志ぬ 目涙どう
ヨーヤレ
目涙どう

(奄美島唄)
雨ぐるみ節

集落のサンゴの石垣、東シナ海に沈む夕日に映える三つ立ち神、岬のダイヤモンドヘッド、曾津高崎灯台などが知られております。

